

経営協議会学外委員からの主な意見への対応状況

経営協議会	学外委員からの主な意見等	対応状況
<p>第 39 回 (平成 25 年 1 月 28 日)</p>	<p>〈今後の東京外国語大学について〉</p>	
	<p>人文系、社会系だけでなく、自然科学などの諸領域との間に、積極的な連携を構築すべきである。</p>	<p>平成 26 年 3 月に、東京農工大学との間で、相互の教員派遣による授業の提供や単位互換、プロジェクトやシンポジウムの共同開催等に関する連携・協力協定を締結した。</p>
	<p>入試広報は効率的な戦略に基づいて実施すべきである。</p>	<p>これまで地方で開催していた体験授業を府中キャンパスでも実施し、各学部で学ぶ内容を高校生が体験する機会を大幅に拡大した。</p>
	<p>世界諸地域の大学と協定を結び、すべての学生が海外で勉強した経験を持てるようにすべきである。</p>	<p>交流協定校の開拓を進めるとともに、学生が留学しやすい環境を整備するため、学則を改正し、連続して休学できる期間を 3 年間に延長し、ショートビジットの対象を 1 年次まで引き下げた。 また、平成 27 年度改正を目指してアカデミックカレンダーの見直しに着手した。</p>
<p>第 42 回 (平成 25 年 6 月 24 日)</p>	<p>〈大学の危機管理について〉</p>	
	<p>大学の情報のバックアップ体制を検討すべきである。</p>	<p>平成 26 年 3 月に、他府県にあるデータセンターに大学情報の一部の移し、防災対策を施した。</p>
<p>第 43 回 (平成 25 年 10 月 11 日)</p>	<p>〈東京外国語大学のミッションについて〉</p>	
	<p>ミッションの意義はとても重要なので、必要であれば学生も参加させて十分時間をかけて議論してほしい。</p>	<p>1 月 30 日開催の第 45 回経営協議会において、東京外国語大学のミッションを懇談事項にするとともに、学生を交えた意見交換を行った。</p>